

I. プレ探究とは

後期（10月）から、イノベーション探究基礎では、本格的に探究活動を開始します。プレ探究とは、本格的に探究活動を始める前に、探究活動の一連の流れを体験する活動です。

II. プレ探究の進め方

1) 研究テーマ・研究対象

「 _____ 」

- ・最初に調査対象地域を決める（絞り込む）！
- ・「調査するものによって範囲を決める」or「範囲を決めてから調査するものを決める」

2) 論題・仮説の立て方

- ・対象地域を実際に調査してみて、気になったことや疑問に思ったことをきっかけに論題を設定してみよう！

- ・地図上ではわからない「地域の特徴」を調べてみるのもOK

※プレ探究は短期間の探究になるため「仮説」の設定は任意

3) 主な研究方法

「 _____ 」

→ ある調査対象について学術研究をする際に、そのテーマに即した場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、関係者には聞き取り調査やアンケート調査を行い、そして現地での史料・資料の採取を行うなど、学術的に客観的な成果を挙げるための調査技法

- ・収集するデータは，１種か２種にする

夏季休業中に行うといっても，三高生は探究に何日も使えません

本格的な探究活動ではなく，プレ探究であることを忘れずに！

- ・班員が協力して２～３日で集められるデータにする！

「分析してみれば，面白い結果が出るかもしれない」

「〇〇のために△△のデータを広く取ってみよう！」

4) 発表方法

「_____」

- ・グーグルスライドまたはパワーポイントを用いて **A3版**（１枚）作成する

- ・縦で作成するか横で作成するかは班で決める！

- ・フィールドワークをするため，必ず地図を掲載する

※優良ポスターは各地の「環境地図作品展」に出展予定

- ・見た人が理解しやすいように，デザインにも工夫を！

- ・必ず以下の項目を掲載すること

- | | | |
|-------|-------------|--------|
| ①論題 | ②班員の学籍番号・氏名 | ③調査の目的 |
| ④調査方法 | ⑤調査結果 | ⑥考察 |

<ポスターデータ提出期限>

令和6年9月30日（月）18時 厳守

※「イノベーション探究基礎」の評価対象となります

5) プレ探究活動上の諸注意

- ・ 短期間の探究活動のため、今回は外部機関との連携はしない

- ・ 立入禁止区域での探究活動は禁止

(例) 大堤公園のため池は柵で囲まれているため、立入禁止になっています。

- ・ 現地状況の改変をしてはいけない

(例) 地質調査といって地面を掘ることは禁止されています。

- ・ 環境破壊になるようなことはしない。

※植物採集はほどほどに、写真で済むならスマホで撮影！

- ・ 探究の記録をしっかりと残す（スマホを活用しよう）

※大きさを調べることになるかもしれない対象物は、比較できる物を写しこむと

GOOD！

Ⅲ. 今後の予定

6月28日 オリエンテーション

7月20日～8月20日（夏季休業中） フィールドワーク（2～3日）

8月29日～9月30日 発表ポスターの作成

9月30日 発表ポスター提出メ切り

10月4日 プレ探究発表会

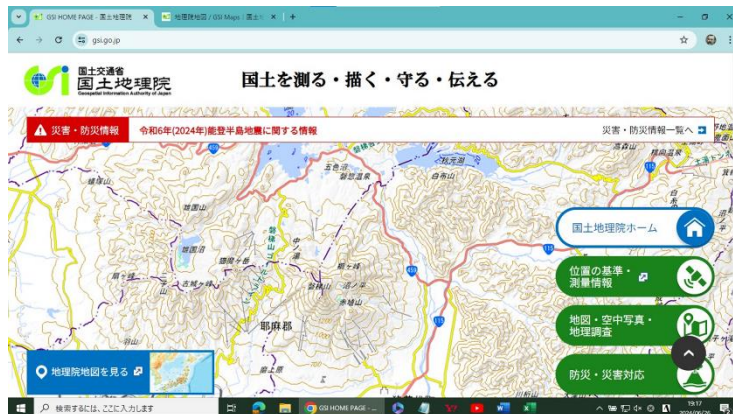
★イノベーション探究基礎・復習

これまでイノベーション探究基礎で受けた講義を思い出し、以下の空欄に当てはまる語句を答えなさい。

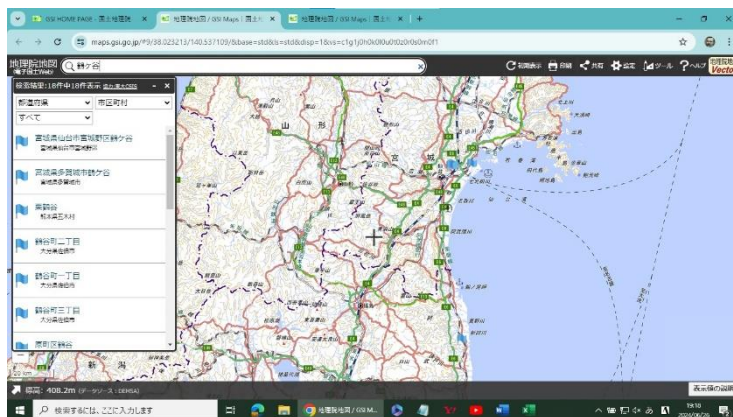
- ①探究は〔 〕の時間だけで行うものではない
- ②途中で「研究テーマ」の変更をして〔 〕
- ③探究テーマは〔 〕広告にならないように注意
- ④〔 〕文献は多いほど良い
- ⑤論題に対して〔 〕を立てて探究する
- ⑥論題の関連事項を〔 〕化してみる
- ⑦データ分析は〔 〕サイクルを何度も回す
- ⑧探究する上で大事なことは、手段ではなく〔 〕
- ⑨専門性に特化した指導・助言を得るために〔 〕を活用
- ⑩〔 〕学習は探究ではない
- ⑪議論のコツは相手との対立を避け、〔 〕な意見交換をすること
- ⑫発表者に気づきや〔 〕を与える質問が望ましい。

＜地図画像の作成方法＞

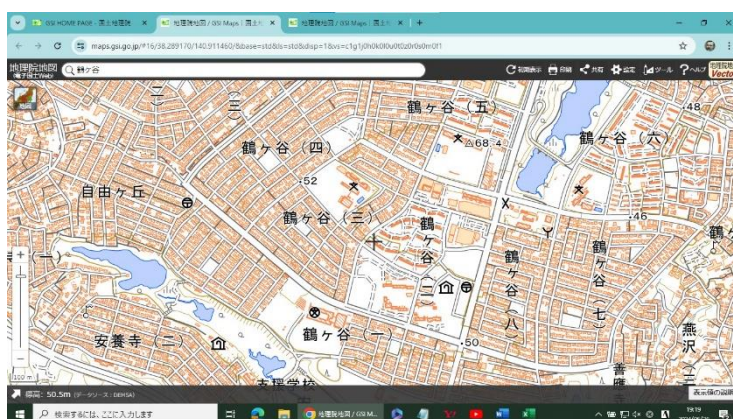
1. 国土地理院のホームページ (GSI HOME PAGE) を開く



2. 左下の「地理院地図を見る」をクリック



3. 上の検索バーナーで「鶴ヶ谷」と入力して検索



4. 使用したいエリアまで拡大(縮小)したら、右上の「共有」から をクリック



★著作権の関係上、「地理院地図」の表記は必ず残すこと！



研究対象「尚志ヶ丘フィールド」

